



10月 園だより

社会福祉法人雲柱社
五日市保育園

高い空、秋の雲、風に揺れるススキや、金木犀の香りにも深まっていく秋を感じます。これから日々移り変わる自然が楽しみです。お散歩に出かけることも多くなり、ドングリやきれいに色づいた落ち葉など、たくさんの宝物を持って帰ってくることでしょう。子どもたちと一緒に、神さまが創られた秋の自然に触れたいと思います。

保育園では毎年10月に、お隣の五日市小学校体育館をお借りして運動会（幼児）を行っています。練習ではしっかり出来ていたのに、当日は緊張してうまく出来ない子もいます。反対に練習では今一つ乗り気になれなかったけれど、当日は張り切って出来る子もいます。どんな姿を見せてくれるのかは、当日までわかりませんが、子どもたちの大切な育ちの一場面をどうぞ温かく見守ってください。

先日、車で茨城県ひたちなか市まで行く機会がありました。車のナビ（ナビゲーション）に道案内をしてもらい、3時間ほどで無事に到着出来ました。不慣れな高速道路のジャンクション（分岐）などでも、ナビは進路をしっかりと教えてくれます。地図を見るのは苦手な私も「ナビさえあればどこへでも行けるのではないか」という気持ちになりました。でも反面、ナビに「正解」を教えてもらっても、実際にはちょっとした迷いや不安も発生します。この日は幸い一人ではなく隣に家族（長女）が乗ってくれていました。誰かが「共にいてくれる」というのは心強いし安心できるものだなと改めて感じました。

いろいろなことが便利になって、スマホ、Google や ChatGPT などでもすぐに「正解」を教えてもらえる時代です。悩んだ時や困った時にはキーワードを入れて検索するとたくさんの情報がもらえます。でも、やはり「共にいる」ということは人にしか出来ないとても大切なことだと思います。

神さまは人間を作った時「人が独りでいるのは良くない」とパートナーを作られました。聖書の最初にある創世記という書物に書かれています。一人でも生きていける力をつけることが推奨される今の社会においても、私たちは神さまが言われたように、1人より2人、3人、4人…と繋がりながら共に生きていきたいと思えます。子どもたちにも、お家の方にも、誰にでも困った時は助けてくれる人、不安な時にそばにいてくれる人、嬉しい時に一緒に喜んでくれる人がいます。そして神さまも必ず共にいてくれます。どんなに便利な社会の中でも、このことは忘れずにいてほしいと思っています。

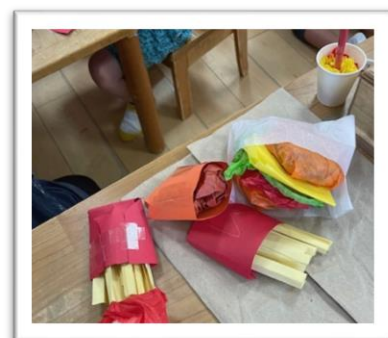
（園長 関根富美子）



小麦粉粘土をトースターで焼いて
パン屋さんごっこ♪



本物そっくりに出来ました♪



神さま、石川県能登半島の豪雨災害で被害にあわれた方々、悲しみの中
にいる方々、不安な日々を過ごされている方々をどうぞお守りください。
一日も早く皆さまが安心して暮らせるように心からお祈りいたします。